

2019年度 科学研究費助成事業-科研費-の公募について

科学研究費助成事業-科研費-は、我が国の代表的な研究助成制度であり、人文・社会・自然科学・複合領域・学際領域等すべての領域が対象となっています。現在、先生方が取り組んでおられる個々の研究課題を、科学研究費助成事業に申請いただくことにより、我が国の学術の振興につながるとともに、本学の研究力を社会に示していく機会ともなります。また、機関としての採択状況は、私学助成金の配分、各種競争的資金等の審査における評価項目の一つにもなっており、全学的に採択件数を増やしていくことが望まれます。

1 学内応募スケジュール

①応募登録受付期間 2018年10月5日(金) 16:00

以下の【1】【2】どちらかの方法でご応募ください。

【1】e-mailで、件名に「2019年度科学研究費応募登録希望」とご記入いただき、メール本文には(1)お名前、(2)研究種目名(3)連絡先(お申込みいただいたメールアドレスと異なる場合のメールアドレス)を入力してメールで送信してください。(研究推進部代表宛て：gks@aoyamagakuin.jp)

【2】「応募登録書」をご提出ください。研究推進部科研費ホームページよりダウンロードできます。

<http://rs.aoyama.ac.jp/kakenhi/index.html>

登録された方には順次、電子申請用のIDとパスワードを発行します。

②「研究計画調書」学内締切 2018年10月16日(火) 17:00【厳守】

2 公募要領・研究計画調書等のダウンロードページ

新学術領域研究(研究領域提案型) ⇒ 文部科学省ホームページへ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394559.htm

特別推進研究・基盤研究・挑戦的研究・若手研究 ⇒ 日本学術振興会ホームページへ

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html

研究成果公開促進費 ⇒ 日本学術振興会ホームページへ

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/keikaku_dl.html

3 昨年度からの主な変更点

(詳しくは「公募要領」冒頭の〈平成31年度公募における主な変更点等〉をご確認ください。)

- 研究計画調書の様式変更：研究計画書における「研究代表者および研究分担者の研究業績」欄について評定要素に合わせ、「応募者の研究者の研究遂行能力及び研究環境」欄に変更しました。
- 科研費における研究組織は従来「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」により構成していたところ、平成30年度から「連携研究者」を「研究協力者」に統合することとした。このため、研究組織は「研究代表者」、「研究分担者」、及び「研究協力者」から構成してください。
- 研究代表者が、研究分担者とともに研究組織を構成する場合、研究分担者となることの承諾を得る手続きについては、従来書面にて行っていたが、科研費電子システムにより行うこととしました。
- 審査の際に審査委員がresearchmap及び科学研究費助成事業データベース(KAKEN)の掲載情報を必要に応じて参照することができることとしました。
- 科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものであるため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されることを明記しました。
- 研究者が遵守すべき行動規範について明記するとともに、研究代表者及び研究分担者が、研究遂行上配慮すべき事項について内容を理解し確認する必要があること明記した。
- 基盤研究(A)について、従来採択されなかった場合のみ審査結果の所見を開示していましたが、新たに採択された場合についても、審査結果の所見を開示するとともに、審査結果の所見の概要を科学研究費助成事業データベース(KAKEN)に公開することとしました。
- 近年の科研費の応募件数の増加に関して、科研費制度の趣旨、目的の研究機関内での改めでの共有について、研究機関の留意事項として明記しました。

作成に当たっては公募要領別冊「応募書類の様式・記入要領」を十分に確認してください。

科学研究費補助金 研究種目一覧（9月に公募する研究種目）

特別推進研究	新しい学術を切り拓く真に優れた独自性のある研究であって、格段に優れた研究成果が期待される一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画 (期間3～5年、1課題5億円を上限とするが、真に必要な場合にはそれを超える応募も可能)	
新学術領域 (研究領域提案型)	多様な研究者グループにより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成、設備の共用化等の取組を通じて発展させる。 (期間5年、単年度当たりの目安1領域1,000万円～3億円程度)	
基盤研究(S)	独創的、先駆的な研究を格段に発展させる、一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画(期間は原則5年、1課題5,000万円以上2億円以下)	
基盤研究(A)・(B)・(C)	独創的、先駆的な研究を格段に発展させる、一人又は複数の研究者で組織する研究計画 (期間3～5年(応募区分「特設分野研究」は期間3～4年)、応募総額によりA・B・Cに区分)	
		応募総額
	(A)	2,000万円以上 5,000万円以下
	(B)	500万円以上 2,000万円以下
		応募区分
(A)		「一般」
(B)		「一般」・「特設分野研究」
(C)		「一般」・「特設分野研究」
挑戦的研究 (開拓)・(萌芽)	斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する一人又は複数の研究者で組織する研究計画。なお、(萌芽)については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画も対象とする。 (開拓) 期間3～6年 500万円以上 2,000万円以下 (萌芽) 期間2～3年 500万円以下	
若手研究	博士の学位を取得後8年未満の研究者(※)が一人で行う研究計画。なお、経過措置として、39歳以下の博士の学位を未取得の研究者が一人で行う研究計画も対象とする。 (※) 博士の学位を取得見込みの者及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後8年未満となる者を含む。 (期間2～4年、500万円以下)	
研究成果公開促進費	学術図書、データベース、研究成果公開発表	
国際共同研究加速基金		
帰国発展研究	海外の日本人研究者の帰国後に予定される研究(期間3年以内、5,000万円以下)	

4 電子申請について(学内締切:2018年10月16日(火)17:00【厳守】)

研究計画調書は、「Web入力項目」と「添付ファイル項目(wordファイル)」とで構成されています。

「Web入力項目」は、日本学術振興会の電子申請システムの画面上で直接入力してください。

(<http://www-shinsei.jstps.go.jp/kaken/index.html>)

「添付ファイル項目(wordファイル)」は、日本学術振興会ホームページから書式をダウンロードして作成してください。(作成途中のファイルは、ご利用のPC等にwordファイルとして保存することができます。)

電子申請システムの画面上で「応募情報又は研究計画調書の確認」をクリックしてpdfファイルに変換された研究計画調書全体の内容に不備がないかを確認し、「確認完了・提出」と「OK」をクリックして送信提出していただくとともに、別途メールにてwordファイルを研究推進部宛てお送りください。研究推進部で内容を確認し、必要に応じて問い合わせを行い、研究計画調書を完成させます。

なお、代表者としての計画調書の提出時には、研究分担者承諾手続き(電子申請)の完了が必ず必要ですので、余裕をもってご手配ください。

*別紙「研究組織に研究分担者を加える場合の手続きについて」をご参照ください。

5 重複申請の制限

複数の研究種目に申請される場合には、重複制限がありますのでご注意ください。

(詳しくは「公募要領」21～30頁を参照)

○応募登録書・研究計画調書の提出先・申請に関するお問い合わせ先

研究推進部 研究推進課 科研費担当

Tel: 03(3400)1204、内線12242 e-mail: gks@aoyamagakuin.jp